



新市場区分の上場維持基準の 適合に向けた計画書 (2022年8月版)

2022年8月16日

株式会社キャンバス
(東証グロース 4575)

上場維持基準の適合状況

2022年6月末時点における上場維持基準適合状況

項目	定義	上場維持基準	当社の状況	適合状況
時価総額	事業年度の末日時点の上場株式数に、 事業年度の末日以前3か月 の当取引所の売買立会における日々の最終価格の平均値を乗じて得た額	40億円	32.9億円	不適合

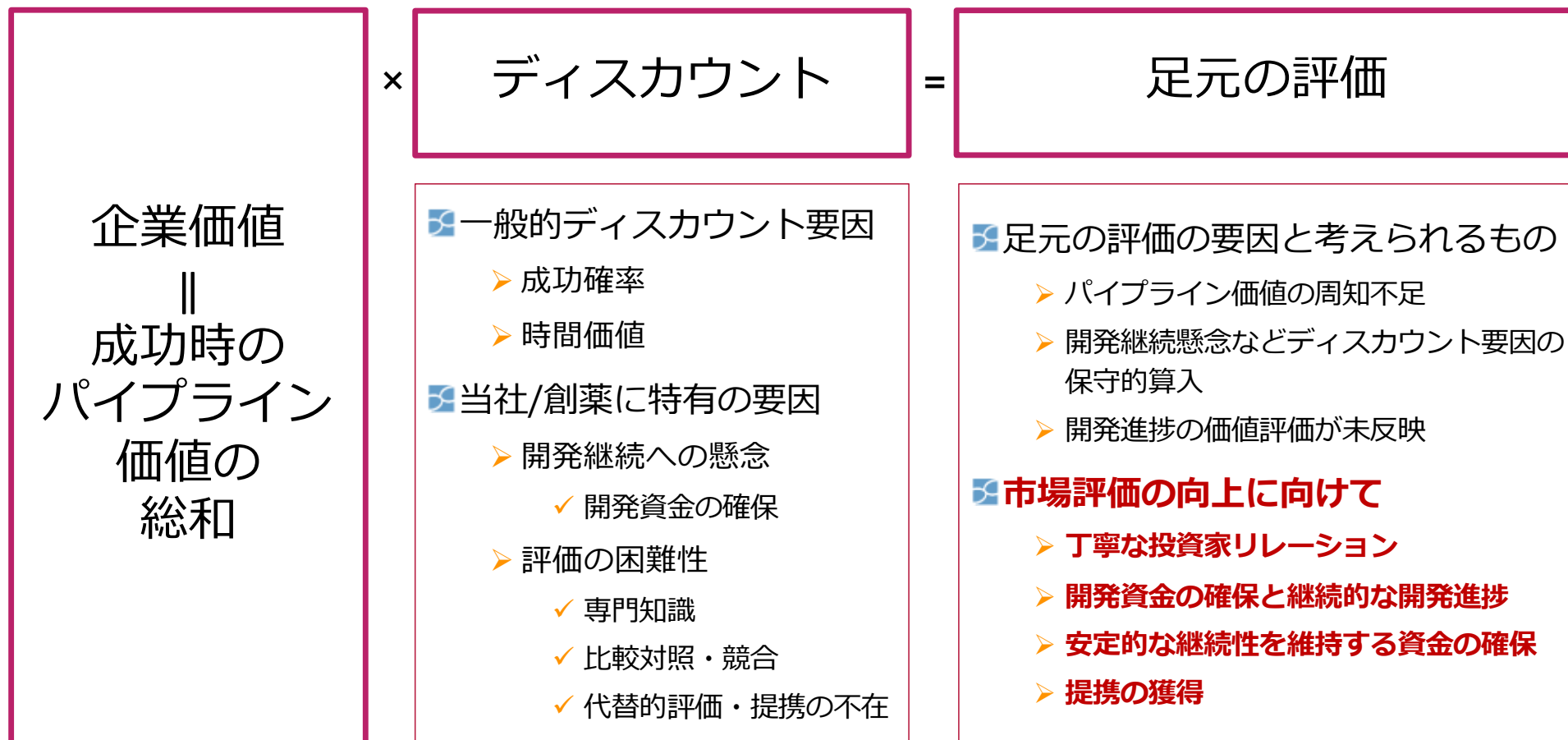
2021年6月末から今回の基準日（2022年6月末）まで及び現在までの適合状況の推移

	2021年 6月末	7月末	8月末	9月末	10月末	11月末	12月末	2022年 1月末	2月末	3月末	4月末	5月末	6月末	7月末
当日以前3か月の 終値平均（円）	415.2	390.5	371.9	342.8	296.7	249.9	210.5	215.1	218.1	215.1	189.8	181.2	285.5	483.6
発行済株式数 （千株）	— *1	8,819	8,873	8,873	9,085	9,291	9,305	9,636	10,076	10,380	10,695	10,974	11,537	12,414
基準時価総額 （億円）	35.6	34.4	33.0	30.4	26.9	23.2	19.5	20.7	21.9	22.3	20.3	19.9	32.9	60.0

本計画書公表時点の試算値*2では、上場維持基準（40億円）に適合しています

*1 2021年6月末の基準時価総額は、当該基準日において把握可能であった2021年5月31日時点の発行済株式数を用いて算出

*2 試算値はすべてキャンバスが算出したもの。表示桁未満切捨



取り組みの基本方針

- 各臨床開発パイプライン、特にCBP501の開発推進
- 足元の評価に関する課題を解消する投資家リレーションの推進

足元の評価に対する基本認識 = 現状の課題

- パイプライン価値の周知が不足している
- 開発継続懸念などディスカウント要因が保守的に算入されている
- 開発進捗の価値評価が十分に反映されていない
- 未行使未転換の潜在株式数が保守的に算入され分母が過大に想定されている

上場維持基準の適合に向けた取り組みの実施状況

前回公表した取り組み計画3項目の実施状況

前回公表の取り組み計画と予定期間	実施状況
(1) CBP501臨床第2相試験の推進と 中間解析結果による開発価値の明示 (2021年9月～2022年末予定)	<ul style="list-style-type: none">臨床第2相試験ステージ1の進捗被験者登録完了 (2022年8月)中間解析のスケジュール見直し変更なし
(2) 第17回新株予約権の発行・行使促進による CBP501開発継続資金の獲得 (2021年9月～2023年末予定)	<ul style="list-style-type: none">第17回新株予約権発行行使促進策の実施 (転換社債一部買入消却による潜在株式削減 ほか)
(3) 上記各取り組みの成果を株価 (時価総額) や 流動性の向上に反映させる 効果的な投資家リレーションの実施 (2021年9月以降継続的に実施予定)	<ul style="list-style-type: none">臨床試験のねらいや詳細をブログで公表臨床第2相試験被験者登録状況を月次開示 (2022年1月～)臨床試験進捗に伴う発生事実の適切な公表と解説ツイッター公式アカウントを活用した効果的な投資家リレーションの実施

これらの取り組みにより、本計画書公表時点の試算値で上場維持基準に適合

